

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月19日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年9月16日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(日本語名) University of California, Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年6月～2024年9月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: ~ 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	
創立年	

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	5945	951200 円	
宿舍費	4885	781600 円	寮費に一日二食の食費込み
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	45	7200 円	
現地交通費	230	36800 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	100	16000 円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	1000	160000 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他	2000	300000 円	旅費・外食費等
その他		円	
合計		2252800 円	

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:ロサンゼルス国際空港 経由地:

復路 出発地:ロサンゼルス国際空港 目的地:羽田空港 経由地:

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:zipair 料金:約 80000 円

復路 航空会社:デルタ航空 料金:約80000円 ∴合計:

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名: )

インターネット(サイト名:各空港会社のホームページ)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:olympic hall)  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 3)

3) 共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法:

学校のホームページ

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

クーラーが効いて、ウォーターサーバーや電子レンジなどもあって比較的快適に過ごすことが出来た。また、部屋とは別に勉強できるラウンジがあったのも良かった。しかし、トイレとシャワールームを同じ階の人と共有するのだが、髪の毛を拾わない人や洗面台を使った後に拭かない人がいてあまり綺麗ではない時があった。

また、サクソンという寮もあるのだが、寮にいた女の子が襲われるという事件があったので、女の子や安全面が不安な人は個人的にはオリンピックホールの方がおすすめ。(サクソンは建物のつくり上、窓から侵入できてしまう。)

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達に聞いたリインターネットで調べた

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内は基本的にはインターネットに接続することが出来る。また、ほとんどのカフェはWiFiが使える

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行口座を使った。支払いはクレジットカードで行った

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的には全部買えるが、とても高くなる

最低限の薬などは一応持っていった方が良い

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

日本の口座を使って支払った、大学が指定した口座に入金

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Entrepreneurial Communication	
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 115 分が 2 回
担当教授	Steve Peterson
授業内容	起業のための授業 最初の 3 週間は商品のアイデアを考えて、そのアイデアを検証したりする。具体的には、友達に自分の商品のアイデアについてアンケートを取ったりインタビューをしたりする。また、講義内では、起業をするうえで必要な最低限の基礎知識を身に着ける。 そして残りの 3 週間は自分が考えた商品からどのように利益を得るのかについて考える。また、講義内では、利益を得るための多様な方法などに触れる。
試験・課題等	1週間に3つほどリーディングが出される 前半と後半の計 2 回   リーディングと授業内容からテスト(25 問ほど)  自分で考えた商品やアプリ、ビジネスに関するプレゼンをする 前半と後半の計 2 回(90 秒)
感想を自由記入	授業内では周りの人と話す時間があるので積極的に話しかければ友達ができると思う。リーディングの量はかなり多いと思うが、テスト自体は選択問題だったし、比較的易しかった。また、先生もとても優しくオフィスアワーに行った時は、しっかり対応してくれた。さらに、ビジネスの知識が全く無くても、授業についていけたし、ほかの生徒の考えた商品なども聞くことが出来るので面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Networking	
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 125 分が 2 回
担当教授	Steve Peterson
授業内容	ソーシャルネットワークについて学ぶ。 簡単に言うとグループの中で誰が中心人物なのかや、どのようにしてネットワーク内で情報が回るのかなどについて学ぶ。また、ネットワーク内でソーシャルメディアがどのような役割を果たしているのかなどについても学ぶことができる。
試験・課題等	レポートが 3 回 期末は 8~10 枚程度 テストが 2 回 50 問ほど、選択問題 プレゼンが 1 回(90秒)
感想を自由記入	期末はテストもレポートもあるので比較的課題が重い授業であると思う。特に、毎週4、5個くらい論文を読まなくてはいけなくて、その論文から問題が出るので正直きつかった。 しかし、この先生の授業は面白いので興味がある人はとってみても良いと思う。特にこの授業はソーシャルメディアが関連しているのでみんなに馴染み深くて楽しめると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Aliens, Psychics, and Ghosts	
科目設置学部・研究科	world arts
履修期間	6 週間
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 140 分が 2 回
担当教授	Welseigh Gates
授業内容	超常現象がどのように理解し、意味づけられているのかについて考える。具体的には、超常的な存在が西洋の科学的知識とどのように結びついているのかについて考え、さらには先住民や黒人、フェミニスト、トランスジェンダーなどとも結びつける。
試験・課題等	short paper(5~6 枚)と final paper(8~10 枚)の計 2 回 授業前に論文を 1~2 個読む
感想を自由記入	この授業は現地の人向けのライティングの授業であったため、難易度が高かった。そのため、オフィスアワーに通ったり、教授にメールでライティングを添削してもらったりした。また、授業前に論文を読んで、その内容を授業内でディスカッションするのだが、とてもレベルが高かった。そのため、出来るだけ友達を作ってディスカッションに参加しやすいようにした方がよいと思う。 また、先生は優しく、授業内容自体は面白かった。さらに最後の授業では電気を消して、みんなで怖い話をする時間があって楽しかった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	ビザ申請
	4月～7月	航空券購入、滞在策の確保
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学生生活で一番大事なことは遊びと勉強を両立させることだと思います。行きたい場所はお金はあまり気にしないで全部行ったほうが良いと思います。

また、授業についていけなくなったり、課題が分からない時は先生に相談すればどうにかなると思います。アメリカはオフィスアワーという制度があるので、その時間に教授に質問してくれれば丁寧に答えてくれるし、自分のことを覚えてもらえるのでどんどん質問がしやすくなると思います。

また、ロサンゼルスは治安が良くはなかったのが特に夜は一人では出歩かないようにした方が良いと思います。

また、UCLA で一番良かったことは食事がとても美味しかったことです。食事が美味しかったおかげで3か月間頑張れたので、留学先を決める際にはホームページで食事を見てもみるのもありだと思います。

最初は不安だと思いますが、とても濃くて貴重な3か月になったので、悩んでいる人はぜひ挑戦してみると良いと思います！